

2006.12 NPO 法人雁木組 (氏原)

1. NPO 法人雁木組がめざすもの

太田川デルタには6本の川が流れ瀬戸内海に注いでいます。干満差の大きい広島河川には、かつて生活物資の運搬船などの船着場として利用されていた「雁木」が300ヶ所以上残っています。

NPO 法人雁木組は、これらを船着場として再活用する水上タクシーの運航を2004年10月にスタートしました。

雁木タクシーは、船でまちなかを往来する楽しさを、多くの市民や来訪者に知ってもらい、新しい広島の魅力づくりへとつなげ、川に親しむ「暮らし」を取り戻すことをめざしています。

広島市内の雁木位置図



2. NPO 法人雁木組の活動

(1) 定款における目的

- まちづくりの推進を図る活動
- 経済活動の活性化を図る活動
- 環境の保全を図る活動

(2) NPO の仲間

- 正会員 約 30名 (コアスタッフ)
- 支援者 約 200名
- 船長登録 15名



(3) 雁木組のプロジェクト

●雁木の歴史性調査

古くから残る雁木の歴史性を検証する活動を行っています。

雁木組の調査(中間報告)をきっかけに、京橋川の雁木群が土木学会の近代化土木遺産リストに登録されました。調査は継続中です。



●環境への取り組み

小学校の総合学習への協力など、環境啓発活動を行っています。



白島小学校の地域学習で

●太田川産しじみの応援活動

太田川ではしじみの栽培業が営まれています。広島市内水面漁業組合と連携し、ブランド化のお手伝いを行っています。



都心部の川でありながら、環境を反映して美しい黄金色のシジミが獲れる。

(4) 雁木タクシーの運航を支えるプロジェクト

●陸上支援

雁木での安全な乗降りをサポートするために、NPOメンバーおよび支援者が陸上支援をしています。

現在、乗降りが可能な雁木は51ヶ所。お客様のニーズにあわせて、スタッフは街じゅうを駆け巡っています。



●雁木掃除

利用雁木の安全性を高めるため、NPOメンバーおよび支援者による雁木や水辺の清掃を定期的に行っています。



●雁木の利用可能性調査

雁木の船着場としての利用にあたり、形状、安全性、水深などの利用可能性を調査し、データベース化することにより、既存ストックの活用および干潮河川における運航を支援しています。



雁木タクシーの紹介

(1) 雁木タクシーの運航状況 (平成 18 年 12 月現在)

- ・海上運送法第二十条第二項にもとづく不定期航路事業
- ・小型船舶 3 艇にて運航、これまでに約 8500 名が乗船
- ・各雁木の形状、構造、水深を調査し、50 ヶ所で乗降り
- ・乗船客の 6 割弱が観光客



(2) 雁木タクシーの運航方針

- ・自然現象（潮位変動）とつきあい、広島らしい運航スタイルを見出す。
- ・将来を見据え、補助金・助成金に頼らない運航に徹する。
- ・壁は企画にかえる（川での取組みは波も高いし壁だらけ。されど!）
- ・中期目標は「いつでもどこでも待たずに乗れる」こと。

(3) 雁木タクシーからみつける広島の魅力

- ・京橋川に江戸時代から残る「雁木」「裏木戸」。
- ・個性的な橋（石橋、木製つり橋、市電の通る橋など）
- ・しじみ漁の風景
- ・まちなかの自然（サギの棲む中洲、干潟の生きもの）
- ・川から眺める広島の風景。夕景色がおすすめ。
- ・水辺近くにある集客施設・観光施設。
- ・海に近い街を再認識。



(4) 平成 18 年の主な取組み

- (1) 住む人の日常的な利用（公共交通的利用）を促進
- (2) 川の潮汐データ IT 化
(マイクロソフト NPO 支援プログラム)
- (3) 雁木の文化財価値の評価・検証
- (4) 太田川産しじみのブランド化協力
(広島市内水面漁協)
 - ・駅前市場とのタイアップ、産地 PR、稚貝放流
- (5) 雁木の機能性調査
(（財）河川環境管理財団河川整備基金)
- (6) 水辺の看板づくり (（財）河川環境管理財団河川整備基金)
- (7) 広島の夜の魅力づくり (JTB 旅連)
- (8) 水辺清掃の呼び掛けと展開
- (9) 修学旅行生によるとうろう流し協力
- (10) 海との関係づくり (広島プリンスホテル、観音マリーナ「海の図画展」)